

平成27年度 新発田・北蒲音楽部 活動報告

部長 齋藤 貴子

1 研究主題 「思いをもって いきいきと 表現する子」

2 研究の概要

4月 活動計画の立案・決定

6月 講習会

・講師 阿賀野市立堀越小学校 教頭 安澤 たい子 様

11月 授業研修

・授業者 聖籠町立亀代小学校 教諭 斎藤 光輔

・指導者 阿賀野市立堀越小学校 教頭 安澤 たい子 様



3 研究の実際

(1) 講習会「鑑賞の指導方法について 2」

○ 内容 ①指導 鑑賞領域の学習内容、指導方法、評価方法について

②演習 2年「はくのまとまりをかんじとろう」

『トルコこうしんきょく』（ベートーベン作曲）の鑑賞指導

(2) 授業研修 4年「せんりつの重なりを感じ取ろう」

○ 協議の視点 ・動作化、視覚化、焦点化の手立ての有効性。

二重円での表現、カード・ワークシートの活用

○ 指導 ・どの子に対しても分かる授業であった。（日頃からできている）

・視点を明確にし、意味のある活動を仕組むことができていた。

・1時間の授業で鑑賞のみを扱うのではなく、歌や合奏などを合わせて行うとよい。

4 成果と課題

(1) 成果

○ 講習会では、鑑賞領域の指導方法について、実践の紹介を交えて指導していただいた。学習過程を実際に体験することで、日々の授業改善のヒントを多く学ぶことができた。

○ 授業研究では、視覚を使うだけでなく体の感覚をすべて使わせた聴かせ方であった。また、動作化し、一連の活動を進めるうちに子どもは自然に「くり返し」「重なり合い」等の音楽的要素を獲得することがわかった。

全員が「わかる・できる」を実感できるようにUDLを意識した手立てが生きていた。

(2) 課題

鑑賞では、共通事項をしぼらないと、さまざまな点から聴くので、学習のねらいが定まらない。そのため、その授業で取り扱う共通事項を明確にしていくようにする。